

## ネオニコチノイド系農薬被害

前月号でサイトメガロウィルスとアレルギーや病気との関連を取り上げ、治療には生生姜が有効との情報を、発信しました。症状が改善し、喜ばれている方が多いのですが、次のような症状で、急きょ受診していただいた方が、おられます。

体が浮腫っぽく、膀胱や腎臓あたりの違和感が続き、背骨も痛い、眠ってばかりで、体がしゃんとしない、という方でした。異常のある所は、背骨、膀胱、腎臓、松果体などで、原因は、牛乳アレルギーの再発、花粉、PM2.5、と、サイトメガロウィルス、EBウィルスの潜伏感染の再燃が、主たるものでした。牛乳アレルギーを起こしますと、ウィルス感染に弱くなるのは、以前から指摘していますので、皆さん、ご存知のことと思います。ちなみに、卵アレルギーを起こしますと、細菌感染に弱くなるのです。

そこで、治療は牛乳を減らすこと（この時は、食べられる最大量が0.1cc）、抗アレルギー剤の服用、ウィルスの対策は、レモンマートルと生生姜を、さらに免疫力を高めるために、シークニン（シークワーサーの原種、天然の山ミカン）をお勧めしました。

そして、それらのものを取り入れた後、体が熱くなったり、寒くなったり、背中が強く痛む、頭が痛い、お腹が痛い、吐き気がする、とにかく気分が悪く、身の置きどころが無い、とおいでになりました。

胃、小腸、大腸、直腸、膀胱、腎臓、三叉神経に解毒剤の必要性を認めました。食べたものを調べますと、生姜だけが原因でした。そこで、生姜のアレルゲンエキスを調べますと、それは問題ありませんでした。私共の検査用ストックのしょうが汁も問題ありませんでした。次に農薬を調べますと、ネオニコチノイド系農薬に強く反応します。持って来られた生姜は、私も以前に買って失敗して、全部捨ててしまったものでした。以来、私は、生姜は産直の安全なものにしています。「昆虫になった気分」と言いながら、しんどいながらも、原因がわかって一安心で、帰って行かれました。それにしても、諸外国で禁止、制限がかかっているものが、なぜ日本だけ大幅に使用が広がっているのか、中国でも、国内用には禁止、日本向け輸出用のみ使用許可です。家庭用品でも知らずに使い、過敏な方は、神経系はじめ様々なところに、反応が起こっています。「コバエガホイホイ」、「アリの巣徹底消滅中」、ペットのノミとり、シロアリ駆除、ガーデニング用などです。今のところ、何ともないから平気、という訳にはいきません。この方も、高濃度汚染の物を食べて、初めてこのようなひどい症状が出てきたのです。また、赤ちゃんや小さな子供たちは訴えるすべもなく、ただよく泣き、不機嫌で、体調を崩しやすく、発達に問題があるというふうになり、なっているかもしれません。私共の初診のスクリーニング表にはチェック項目がありますが、ご心配な方は、ご相談ください。農薬全般について可能な限りチェックできるようにしています。

鈴木富美